

貸借対照表  
2014年 12月31日現在

栗山興産株式会社  
(単位：円)

目	金額	科	目	金額
(資産の部)			(負債の部)	
流動資産	1,211,807		流動負債	491,003
現金・預金	461,058		支払手形	335,012
受取手形	242,801		買掛金	64,999
売掛金	345,026		短期借入金	0
製品・商品	124,798		未払金	1,767
仕掛品	0		未払費用	13,782
原材料	25,721		未払法人税等	39,767
貯蔵品	4,779		その他流動負債	8,727
前払費用	2,656		未払消費税	25,452
未収入金	0		リース債務(流)	1,497
短期貸付金	405			
繰延税金資産	3,830		固定負債	4,556
その他流動資産	733		その他負債	0
未収消費税	0		リース債務(固)	4,556
貸倒引当金	0			
			負債合計	495,559
			(純資産の部)	
固定資産	81,927		株主資本	798,175
(有形固定資産)	81,573			
建物	2,655		資本金	18,000
構築物	1,406			
機械装置	66,454		利益剰余金	780,175
車両運搬具	431		利益準備金	4,500
工具・器具・備品	4,063		その他利益剰余金	775,675
建設仮勘定	0		別途積立金	200,000
有形リース資産	6,373		繰越利益剰余金	575,675
一括償却資産	191			
(投資その他の資産)	354			
繰延税金資産	256		純資産合計	798,175
その他資産	98			
貸倒引当金	0		負債・純資産合計	1,293,734
資産合計	1,293,734			

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

① たな卸資産： 移動平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く)： 定額法

② 無形固定資産(リース資産を除く)： 定額法

ソフトウェア(自社利用)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

③ リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法を採用しております。

#### (3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

使用人に対する賞与の支給に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

③ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

#### (4) その他計算書類作成のための重要な事項

① 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

### 2. 当期純損益金額

当期純利益 139,242千円